

## 平成22年9月期 第1四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 日本フォームサービス株式会社  
 コード番号 7869 URL <http://www.forvice.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 岳英  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼介護事業部担当 (氏名) 大海原 秀人  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 JQ

TEL 03-3636-0011

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年9月期第1四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	676	22.1	6	—	16	—	8	—
21年9月期第1四半期	554	—	△10	—	△5	—	△6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	2.23	—
21年9月期第1四半期	△1.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	4,374	2,815	64.4	706.18
21年9月期	4,037	2,827	70.0	709.03

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 2,815百万円 21年9月期 2,827百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	1,245	6.0	54	51.9	62	45.7	32	45.2	8.03
連結累計期間	2,536	12.3	85	66.9	100	55.8	47	58.2	11.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第1四半期	4,020,000株	21年9月期	4,020,000株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年9月期第1四半期	33,190株	21年9月期	32,590株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第1四半期	3,986,960株	21年9月期第1四半期	3,987,410株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国金融危機に端を発した景気の低迷が続くなか、経済政策等により一部改善の基調は見られるものの、急激な円高や雇用・所得環境の悪化による個人消費の低迷からデフレ経済が進行したことにより、依然として厳しい状況で推移しております。

この様な状況の下、当社グループの第1四半期の業績は、売上高は確保できてはいるものの、薄利多売の現状は前年同期と同様であり、利益確保は厳しい状況にて推移しております。

セグメント別には、函物及び機械設備関連事業におきましては、依然低価格化の状況は変わらず、一層価格競争が激しくなっており、製品の付加価値に対する要求は減少しております。

トータルコーディネートソリューション関連製品として、官公庁向けの19インチラックや監視卓の大口案件を受注することにより売上を確保しております。また、ディスプレイ対応製品として医療機関・教育機関また大型表示機分野等に対するLCDスタンドや壁掛・天吊金具、デジタルサイネージ用筐体等に注力し販売拡充を図ってまいりました。

その結果、函物及び機械設備関連事業における売上高は5億2千9百万円（前年同期比 27.3%増）となりました。

介護関連事業に関しましては、在宅介護サービスにおいて、引続き介護予防運動を取り入れた通所介護が順調に売上を確保しており、また、昨年新規オープンした「お元気クラブふかがわ」と「訪問看護ステーション」が順調に新規顧客を確保することが出来ております。一方、地域密着型介護サービスにおける認知症対応型共同生活介護につきましては、退居者の補充が間に合わず、常時満床を維持することが出来ませんでした。

このことより、介護関連事業における売上高は1億4千7百万円（前年同期比 6.6%増）となりました。

以上の結果、全社（函物及び機械設備関連事業並びに介護関連事業）における売上高は6億7千6百万円（前年同期比 22.1%増）となりました。

利益面につきましては、大口案件に対する原材料の一括大量購入による材料費の削減や以前より進めている設備投資による合理化の推進から経費等の削減を行った結果、営業利益は6百万円（前第1四半期連結累計期間は1千万円の営業損失）、経常利益は1千6百万円（前第1四半期連結累計期間は5百万円の経常損失）、四半期純利益は8百万円（前第1四半期連結累計期間は6百万円の四半期純損失）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期の財政状態は前連結会計年度末と比較して、総資産が3億3千7百万円増加し 43億7千4百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加が6千3百万円、受取手形及び売掛金の増加が2億8千万円あったこと等によるものであります。

一方、負債の合計は3億4千9百万円増加し、15億5千9百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加が9千7百万円、短期借入金の増加が2億4千6百万円あったこと等によるものであります。

また、純資産は28億1千5百万円となり、自己資本比率は64.4%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、当第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想数値につきましては、平成21年11月13日に発表いたしました「平成21年9月期 決算短信」の業績予想に変更はございません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	216,769	153,109
受取手形及び売掛金	735,954	455,077
商品及び製品	20,286	55,253
仕掛品	10,236	17,215
原材料	122,872	79,987
繰延税金資産	4,772	12,795
その他	21,558	14,447
貸倒引当金	△210	△210
流動資産合計	1,132,240	787,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	792,149	801,424
機械装置及び運搬具(純額)	42,845	43,854
土地	2,189,459	2,189,459
リース資産(純額)	27,751	28,985
その他(純額)	7,065	6,959
有形固定資産合計	3,059,271	3,070,683
無形固定資産	90,435	95,473
投資その他の資産		
投資有価証券	8,338	9,062
繰延税金資産	51,445	47,801
その他	33,024	26,366
投資その他の資産合計	92,808	83,230
固定資産合計	3,242,515	3,249,386
資産合計	4,374,756	4,037,063

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	153,555	56,338
短期借入金	774,000	528,000
1年内返済予定の長期借入金	87,438	90,376
リース債務	18,002	23,972
未払法人税等	4,194	10,233
賞与引当金	5,849	16,700
その他	170,509	121,547
流動負債合計	1,213,550	847,168
固定負債		
長期借入金	136,024	154,114
リース債務	96,367	96,367
役員退職慰労引当金	109,432	108,013
その他	3,995	4,195
固定負債合計	345,818	362,689
負債合計	1,559,368	1,209,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,950	395,950
資本剰余金	230,000	230,000
利益剰余金	2,205,130	2,216,159
自己株式	△14,317	△14,194
株主資本合計	2,816,763	2,827,914
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,375	△709
評価・換算差額等合計	△1,375	△709
純資産合計	2,815,387	2,827,205
負債純資産合計	4,374,756	4,037,063

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	554,032	676,551
売上原価	371,326	482,080
売上総利益	182,706	194,470
販売費及び一般管理費	192,858	187,510
営業利益又は営業損失(△)	△10,152	6,960
営業外収益		
受取利息	71	110
受取配当金	78	101
補助金収入	5,719	7,319
その他	3,954	5,320
営業外収益合計	9,823	12,852
営業外費用		
支払利息	3,299	2,670
支払手数料	875	875
手形売却損	471	162
その他	194	4
営業外費用合計	4,839	3,712
経常利益又は経常損失(△)	△5,168	16,100
特別損失		
固定資産除却損	—	120
過年度損益修正損	1,357	—
特別損失合計	1,357	120
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,525	15,980
法人税、住民税及び事業税	753	2,235
法人税等調整額	△397	4,835
法人税等合計	356	7,071
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,882	8,908

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）  
該当事項はありません。